

数 学 科 学 習 計 画 書

(2) 年

科目	単位	学科	コース	教科書
数学演習	2	普通科	医療系進学コース	専門学校受験 看護医療系の数学 I + A(文英堂)
年 間 到 達 目 標				
これまでの学習内容を復習し、基本的な事柄を確実に把握するとともに、入試に出題された問題を系統的に学習することにより、解法パターンを習得し受験に備える。				

【1学期】

月	教科書の単元・章・項	学習内容及び到達目標	評価方法	評価の観点
4・5	1章 数と式 1 単項式の計算 2 整式の加法・減法算 3 整式の乗法算 4 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の加法・減法・乗法、指数法則、乗法公式による展開など基本的な計算ができる。 ・乗法公式と関連させて、因数分解の公式を利用できる。 ・効率良く展開や因数分解ができる。 	授業ノート 授業の参加態度 課題プリント 提出物	・見直しをもって、整式の展開や因数分解ができるか。
6	5 実数と絶対値 6 無理数の計算 7 分母の有理化 8 無理数の整数部分と小数部分 9 式の値	<ul style="list-style-type: none"> ・根号を含む式の計算ができる。また、分母の有理化について理解し、計算ができる。 ・乗法公式を利用し、効率良く計算ができる。 	授業ノート 授業の参加態度 課題プリント 提出物	・根号を含む様々な式の計算ができるか。
7	10 1次不等式 11 絶対値記号を含む方程式・不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・不等式の性質をもとに、不等式の解と不等式を解くことの意味を理解する。また、1次不等式を解くことができる。 ・連立不等式や絶対値を含む不等式を解くことができる。 	授業ノート 授業の参加態度 課題プリント 提出物 【第2回考査】	・1次不等式や連立1次不等式が解けるか。

【2学期】

月	教科書の単元・章・項	学習内容及び到達目標	評価方法	評価の観点
8・9	12 集合 13 命題 2章 2次関数 14 2次関数のグラフ 15 2次関数のグラフの移動 16 2次関数の決定 17 2次関数の最大・最小 18 2次関数の最大・最小(定義域に制限がある)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学んだ1次関数について、基本的な用語や概念を確認し、理解する。また、定義域に応じて最大値や最小値を求めることができる。 ・2次関数$y = ax^2 + bx + c = a(x-p)^2 + q$の形に変形し、そのグラフを利用できる。 ・2次関数のグラフについて、与えられた条件からその2次関数を決定できる。 ・2次関数の最大・最小について理解を深め、定義域に応じて最大値や最小値を求めることができる。また、具体的な問題の解決に活用できる。 	授業ノート 授業の参加態度 課題プリント 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の定義域や値域の意味を理解しているか。 ・2次関数のグラフについて理解しているか。 ・2次関数のグラフについて、与えられた条件からその2次関数を決定できるか。 ・2次関数の最大値や最小値に関する基本的な問題を解けるか。
10	19 複雑な関数の最大・最小 20 最大値・最小値が与えられた問題 21 条件式のある最大・最小	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の最大値や最小値に関する場合分けの問題を取り上げ、解法を理解する。 	授業ノート 授業の参加態度 課題プリント 提出物	・2次関数の最大値や最小値に関して、場合分けの問題まで理解しているか。
11・12	22 2次方程式 23 2次関数のグラフと方程式 24 2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・因数分解や解の公式を用いて、2次方程式を解く。 ・2次方程式の実数解の個数と判別式の関係を理解し、それに関する問題を解く。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係から、2次不等式の解の意味を理解し、その解を求める。 	授業ノート 授業の参加態度 課題プリント 提出物 【第4回考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の解の求め方を理解しているか。 ・基本的な2次不等式の問題から連立不等式まで解くことができるか。

【3学期】

月	教科書の単元・章・項	学習内容及び到達目標	評価方法	評価の観点
1・2	3章 図形と計量 28 鋭角の三角比 29 三角比の応用 30 鈍角の三角比 31 $90^\circ - \theta$ 、 $180^\circ - \theta$ の三角比 32 三角比の相互関係 34 正弦定理と余弦定理 36 三角形の面積	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の定義を理解し、三角比の値を求めることができる。 ・三角比の相互関係を理解し、公式を活用できる。 ・正弦定理や余弦定理ならびに三角形の面積公式を理解する。 	授業ノート 授業の参加態度 課題プリント 提出物 【第5回考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の値を求めることができるか。 ・三角比の相互関係を利用し、式の値や証明をすることができるか。 ・正弦定理や余弦定理ならびに三角形の面積の公式に関する問題を解けるか。
3	37 三角形の面積の活用 38 円に内接する四角形 39 空間図形への応用	<ul style="list-style-type: none"> ・円に内接する四角形の性質を理解し、それを活用できる。 ・空間図形においても三角比の性質を活用できる。 	授業ノート 授業の参加態度 課題プリント 提出物	・円に内接する四角形や空間図形などの三角比の応用問題を解けるか。